

< 農 業 >科 学習シラバス

科 目		総合実習	学年・類型	2年生 アグリカルチャー	単位数	2 単位	教科書	なし		
学習の到達目標			1. 農業について、興味・関心を高める。 2. 農場にある作物や果樹、野菜を栽培することで、知識や技術の習得を図る。							
評価の 観 点	A 知識・技術			B 思考・判断・表現			C 主体的に学習に取り組む態度			
評価 の 内 容	実習に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、安全に配慮しながら、実習の意義や役割を理解している。			実習に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身につけている。			基礎的な知識と技術を実習で活用できるよう自ら考え行動する。 地域の課題解決や振興や社会貢献に向けて、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。			
評価 の 方 法	・定期考査 ・実習記録用紙 ・実習への取組状況 ・課題提出			・授業や実習での態度 ・定期考査 ・小テスト			・実習記録用紙 ・実習への取組状況			
学期	月	単元名・小単元名		学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点		
					A	B	C			
1 学 期	4	用水路整備		○作業ごとに必要な用具や機械の名前を理解する。 ○各種栽培管理の大切さを理解する。 除草と追肥 土寄せ・除草 ○ジャガイモやタマネギの収穫方法や出荷基準を理解する。	○					
		栽培管理			○	○			○	
	5				○	○				
	6	野菜の収穫			○				○	
	7									
2 学 期	8・9	秋野菜の栽培 キャベツ レタス ハクサイ ブロッコリー 秋野菜の定植		○作業方法を農場にて実演し、理解する。 ○秋野菜の定植適期と方法を理解する。 ○種まきから、栽培・収穫・試食を一貫して経験し、作る喜び・栽培する楽しみを体験する。 ○秋野菜の収穫方法や出荷基準を理解する。 ○柑橘類の収穫と調整を通し、農産物の流通やニーズを学ぶ。	○	○			○	
	10				○	○				
	11	秋野菜の収穫			○				○	
	12	果樹栽培			○				○	
3 学 期	1	育苗		○作業方法を農場にて実演し、理解する。 ○加工品製造実習(漬け物)で規格外品の活用の意義について学ぶ。 ○サトイモの定植適期と方法を理解する。	○	○				
	2	農産物の二次活用			○	○				
	3	サトイモ栽培			○	○				
学習のポイント		1. 実習による実体験を通し、積極的・協力的な態度で取り組む。 2. 安全面から必ず実習服、実習帽、長靴を着用すること。 3. 分からないことや疑問に思ったことはその都度質問する。								